

令和8年度 第1回江別市交通安全対策会議

議事概要（要旨）

【日 時】 令和8年8月28日（金）14時00分～14時53分

【場 所】 公室

【出席委員】 7名（敬称略）委員名簿順
後藤好人（会長）、佐藤茂一、木村敬、濱野慶介、
川上誠一、惣万祐仁、檜森敦司、橋本一

【欠席委員】 2名（敬称略）
黒川淳司、菊地法裕

【江別市】 6名
（事務局）生活環境部長、生活環境部次長、市民生活課長、
市民生活課主幹、市民活動係（交通防犯担当）主査、市民活動係主任

【傍聴者】 0名

- 【次 第】
1. 委嘱状交付
 2. 委員の紹介
 3. 開会
 4. 市長挨拶
 5. 議事
 - （1）第12次江別市交通安全計画について
 - ① 第12次江別市交通安全計画の策定について
 - ② 第11次江別市交通安全計画との比較
 - ③ 第12次江別市交通安全計画（素案）の主な追加・修正項目と概要
 - ④ 第12次江別市交通安全計画（素案）新旧対照表
 - ⑤ 第11次江別市交通安全計画実績
 6. その他
 7. 閉会

事務局	ただいまから第1回江別市交通安全対策会議を開催する。 会長である市長からご挨拶申し上げます。
市 長	【挨拶】
事務局	議事に入るが、江別市交通安全対策会議条例第3条の規定により、 会長の進行で会議を行う。
会 長	それでは、次第5「議事」に入る。 (1) ①第12次江別市交通安全計画の策定について、事務局から 説明願う。
事務局	【資料1に基づき説明】
会 長	事務局から資料に基づき説明があったが、ご質問・ご意見はあるか。
各委員	(なし)
会 長	次に、議事(1)の②から⑤は関連があるので、まとめて事務局から 説明願う。
事務局	【資料2-1から資料7まで説明】
会 長	事務局から資料に基づき説明があったが、ご質問・ご意見はあるか。
橋本委員	(令和8年8月千葉豪雨※)の際のアンダーパスの写真、防災あんしん マップを広げる) 令和8年8月千葉豪雨では、1,000台から2,000台程の車が冠水による 被害に遭った。 江別市には、大麻アンダーパス(大麻中町)、中原通りのJR線下アン ダーパス(東野幌町・幸町付近)、東光アンダーパス(上江別東町) があるが、「防災あんしんマップ」の災害時注意箇所の表示が全て黄色 い「!」マークである。「水位が1.5メートルに達する」「冠水時、通 行不可」等の表現にすることで、災害時に注意することができると思 う。次回マップ改訂時に検討いただきたい。 今回の資料での該当箇所は、資料6「第12次江別市交通安全計画 (素案)」の15ページ「6 災害等に備えた道路交通情報の提供」で ある。 (※)令和8年8月千葉豪雨・・・気象庁で定めた令和8年8月13日から の千葉県の豪雨に対する名称
会 長	防災あんしんマップは、危機対策・防災担当で作成しているが、今 のご意見を参考に検討してほしい。
佐藤委員	市外からの通過交通と市内の交通と分けたときにそれぞれの特徴が あれば、それらを組み合わせることで、より効果的な対策ができるの ではないか。
濱野委員	市内の主な幹線道路は国道12号、275号、337号であるが、多くは 通りなれている方であり、初めて通過する方はおそらくインバウンド

	の方と考えられる。 国道 275 号、337 号は、トラックドライバーが多く、トラック協会、バス会社、レンタカー会社等が関係機関だと推測されるが、広域であるため、知事部局でなければ難しい。 先ほどのアンダーパスの話では、警察として一番注視しているのは中原通りの JR 線下アンダーパスである。大麻アンダーパスと東光アンダーパスは、意外と水が溜まらない。大雨の際には、警察の権限として、通行止めの交通規制をかける必要がある。
惣万委員	濱野委員の発言にあった、大麻アンダーパスは、大麻中央公園に排水しているが低い位置にあり、水が抜けるため、ほとんど水が溜まらない。 東光アンダーパスは、注意喚起の表示と目盛りを壁面につけているほか、自動で動くポンプがある。東光アンダーパスは近年に 1 度冠水を記憶しているほか 56 年水害の時に冠水したのみである。 中原通りの JR 線下アンダーパスは、やはり水が溜まりやすく、建築当初から、現地には注意喚起の表示と目盛りをつけている。冠水の際は、警察と連携し動けるよう準備している。
木村委員	市内の道路は整備されていると思う。死亡事故現場診断にも立ち会ったが、運転者の不注意等が多く、道路形状が原因と思われる事故はない。
檜森委員	素案にも記載してあるが、119 番通報を札幌圏消防指令センターに一元化したことで、近隣自治体との相互応援体制が強化されているほか、指令時間短縮にもなっている。
会 長	9 月から生活道路の法定速度が時速 30 キロメートルになるが、今まで時速 60 キロメートルであったことが不思議である。
濱野委員	自分は交通部門の経験がないので、今まで時速 60 キロメートルであったことの真相は不明だが、生活道路のような、細かく長い道路まで交通規制をかける余裕がなかったと考えている。生活道路は、児童も多く通るが、一時停止の停止線や横断歩道などがどこも摩耗しているため、通学路を中心に対応していきたい。
会長	それでは、次第 4 の「その他」、何かあるか。
各委員	(なし)
会長	事務局から何かあるか。
事務局	次回の会議は、10 月 27、28、29 日のいずれかの開催を予定しているが、書面開催となる場合もある。
会長	以上で、議事を終了する。